

観光ビジネス学科 シラバス変更の一覧

学年	ページ	開講科目
1年	12	コミュニケーション論
1年	35	韓国語会話 I
1年	44	実践キャリア形成ゼミ

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-0-HSO-01		
	●		●					
科目名	コミュニケーション論				単位認定者	朴 賢淑		試験 (レポート) 70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法 受講態度 30 %
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間	
						授業回数	15 回	
授業の概要	コミュニケーションは、対人関係を構築していくために重要な社会的行為であるが、現代社会においては、コミュニケーションの取り方が大きく変化し、また、複雑になっている。本科目においては、コミュニケーションの基礎的な理論について社会的な視点から考察し、対人スキルの向上へと結びつくコミュニケーションの在り方について理解することを目的とする。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 現代のコミュニケーションの特徴を理論的に捉えようとして、現代人が人間関係を円滑に構築していくためのコミュニケーションスキルについて考察し、活用できるようにする。 異なる文化を持った人とのコミュニケーションの特徴を理解する。 							
学修者への期待等	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学んだコミュニケーションの理論やスキルは日常生活において確認したり使用したりするなどして、身につけてほしい。 							
回	授業計画				準備学修			
1	コミュニケーションの基礎概念				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
2	非言語コミュニケーション(1)ー非言語メッセージの役割:見た目は何を伝えているのか				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
3	非言語コミュニケーション(2)ー真実を伝える体の動き				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
4	言語コミュニケーション(1)ー表現形としての言語				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
5	言語コミュニケーション(2)ー言語によるコミュニケーション				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
6	会話のダイナミクス				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
7	『聞く』『聴く』『訊く』				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
8	『文字』のコミュニケーション				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
9	『自己』とコミュニケーション				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
10	親密性のコミュニケーション				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
11	さまざまなタイプの人の話を聞く				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
12	バーチャル空間のコミュニケーション				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
13	コミュニケーションのツールとしてメディア				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
14	異文化コミュニケーション(ゲストスピーカーの講話)				「異文化とは何か」について調べておいてください。(1時間程度)			
15	コミュニケーションの学びー全体のまとめ				授業後には、振り返りをおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)			
教科書	・使用しない。適宜、レジュメを配布する。							
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> 辻大介・是永論・関谷直也著『コミュニケーション論をつかむ』有斐閣 2014。 大橋理恵・根橋玲子『コミュニケーション学入門』一般財団法人 放送大学教育振興会 2019。 							
備考	<ul style="list-style-type: none"> 受講者の理解度等により、講義の順番や重点の置き方を変えることがある。 講義で随時配る資料はファイルしておくこと。 この科目は2クラス編成で実施する。 							

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-24				
	●	●								
科目名	韓国語会話 I				単位認定者	朴 賢淑		試験 (レポート)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度等	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	<p>本科目は、インバウンドにおいてもアウトバウンドにおいても日本にとって重要な隣国である韓国の言語について、基本的な会話能力の向上を目指す。すなわち日常的な状況で基本的な双方向のコミュニケーションを行いうる程度の基礎的な言語運用能力を養う。そのために必要な語彙・文法・背景となる文化などの講義を交えながら、東アジア圏の有力言語である韓国語の会話能力の獲得・向上を目指す。</p>									
到達目標	<p>韓国語の文字であるハングルの読み方、書き方ができる。基礎的な韓国語の能力 (文法、発音) を身につけ、簡単な日常会話ができる。</p>									
学修者への期待等	<p>毎回の学修内容について必ず復習しておくこと。本講では参加型授業を目指しているため、積極的に授業に参加し、発言することが望ましい。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語の言語と文化について ・ワークショップ (クラス分け) 				「韓国語会話 I」を受講する理由を考えておいてください。					
2	韓国語の文字と発音 ・基本母音字 / 基本子音字				授業で学んだ『母音字』『子音字』については必ず復習すること (1時間程度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること。					
3	韓国語の文字と発音 ・濃音				授業で学んだ『濃音』については必ず復習すること (1時間程度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること。					
4	韓国語の文字と発音 ・合成母音字/終声 (パッチム)				授業で学んだ『合成母音字/終声 (パッチム)』については必ず復習すること。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること。					
5	韓国語の文字と発音 ・発音のルール				授業で学んだ『発音のルール』については必ず復習すること (1時間程度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること。					
6	①助詞：は、も ②疑問形：です、ですか ③否定：ではありません ④用言と体言				授業で学んだ『助詞、疑問形、否定、用言と体言』については必ず復習すること (1時間程度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること。					
7	①助詞：が、の ②形式名詞：これ、それ、あれ ③縮約型：これ、それ、あれ ④陽母音と陰母音				授業で学んだ『形式名詞、縮約型、陽母音、陰母音』については必ず復習すること (1時間程度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること。					
8	①代名詞 ②疑問詞/漢教詞 ③月・日の言い方				授業で学んだ『代名詞、疑問詞/漢教詞』については必ず復習すること (1時間程度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること。					
9	～です、～ます/～ですか、～ますか (文語体) ～へ、～に、～を、～と				授業で学んだ『丁寧語』については必ず復習すること (1時間程度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること。					
10	①～から～まで ②固有数字「1つ、2つ、3つ・・・」 ③時刻の言い方 / 否定形				授業で学んだ『固有数字、否定形』については必ず復習すること (1時間程度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること。					
11	①います、あります/いません、ありません ②年齢の言い方、③助教詞、④位置を表すことば				授業で学んだ『助教詞』については必ず復習すること (1時間程度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること。					
12	～です、～ます/～ですか、～ますか (口語体) ～で / 日 (ビウップ) 変則				授業で学んだ『日変則』については必ず復習すること (1時間程度)。理解できなかった内容については、次回の授業で必ず質問すること。					
13	①ㄹ変則 ②ㅇ変則				授業で学んだ内容は必ず復習すること。(1時間程度)					
14	①名詞・代名詞の後に付く助詞 (～に、～から) ②方法や手段を表す表現 (～で)				授業で学んだ内容は必ず復習すること。(1時間程度)					
15	現在形、尊敬語 (합니다, 습니다) ※作文 아요/어요/ 해요				授業で学んだ内容は必ず復習すること。(1時間程度)					
教科書	金東漢・張銀英著『新・韓国語レッスン初級』 2018. 10, スリーエーネットワーク									
参考文献	金東漢著『韓国語レッスン初級 I 問題集』2005. 3, スリーエーネットワーク									
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を中心に授業を行うが、韓国語の理解を深めるために上記の教材以外にも新聞、雑誌なども活用する。 ・講義で参考資料として配る資料はファイルしておくこと。 ・学期途中で遠隔授業に切り替わった場合、授業計画については別途指示する。 ・「韓国語会話 I」は習熟度別にクラスを編成し、朴賢淑と朴仙子が担当する。なお、第1回の授業は合同で行う。 									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-02			
	●	●	●	●	●				
科目名	実践キャリア形成ゼミ				単位認定者	朴 賢淑 松崎 陽子		試験(レポート) 70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度 30 %
							授業時間数		30 時間
				授業形態	演習	授業回数			15 回
授業の概要	「基礎キャリア形成ゼミ」で学んだ基礎知識を踏まえ、様々な職種や業種について理解する。自分自身を客観的に分析できるようになるとともに、履歴書・自己紹介文・エントリーシートなどの書き方、インターネットを活用した情報収集の方法などを広く学ぶ。								
到達目標	①将来やりたいこと、できることを見極めることによって職業意識を高める。 ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージできるようになる。 ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる。								
学修者への期待等	充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワークや実践家を招いたフリートークをとおして自分の意見を積極的に発言することを期待します。								
回	授業計画				準備学修				
1	就活への準備と心得				「基礎キャリア形成ゼミ」の振り返りをとおして学んだ内容を確認しておくこと。(30分程度)				
2	人生のロールモデルを探す				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をおしておくこと。また、授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)				
3	キャリアパスってなあに？				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をおしておくこと。また、授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)				
4	社会で必要となるコミュニケーションスキル —自分の意見を論理的にまとめる—				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をおしておくこと。また、授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)				
5	世界をみすえたキャリアづくりとは				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をおしておくこと。また、授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)				
6	就職ガイダンスⅠ…就職活動キックオフガイダンス、支援センターの利用方法、求職票の作成								
7	文化観光								
8									
9	就職ガイダンスⅡ…就職活動の進め方、求人票の見方、履歴書の書き方								
10	社会人から学ぶ「社会で必要な力」				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をおしておくこと。また、授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)				
11	就活マナー講座…第一印象の大切さ、社会人としてマナーリクルートスーツの着こなし方								
12	就職体験報告会…2年生から実際の就職活動体験を話してもらおう								
13	面接セミナー…面接の種類、面接のポイント、面接練習								
14	リーダーシップトレーニング				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をおしておくこと。また、授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)				
15	講座のまとめと総括：社会人とキャリア形成				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目をおしておくこと。また、授業後には、振り返りをとおして学んだ内容をまとめておくこと。(1時間程度)				
教科書	適宜、レジュメを配布する。								
参考文献	必要に応じて、授業において紹介する。								
備考	受講者の理解度等により、講義の順番や重点の置き方を変えることがある。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--